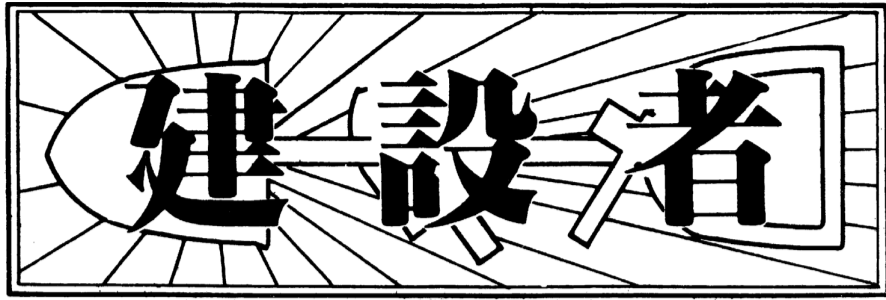


今月の葛飾組織現勢

2019年10月1日	4,500人
加入	49人
転入	1人
脱退	11人
転出	0人
2019年10月24日集計	4,521人



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4  
 電話 (5698) 1 2 6 1  
 FAX (5698) 1 2 6 2  
 発行人 土屋 忍

秋の拡大目標

	1 / 1 付 人員	目標 3.5%	成果	到達率
たつみ	531	19	19	100%
奥戸	408	14	15	107%
本田立石	328	11	11	100%
青戸	170	6	6	100%
中央	394	14	16	114%
堀切	277	10	7	70%
亀有	398	14	8	57%
細田高砂	388	14	13	93%
柴又	188	7	8	114%
新金町	337	12	12	100%
北水元	207	7	2	29%
幸田	269	9	6	67%
水元	433	15	16	107%
その他	225	8	5	63%
合計	4,553	160	144	90%

2019/10/31集計データ

# 奮闘お疲れさまでした

## 秋の拡大月間



たくさんの方が集まり、交流しました

### Kポイントで意欲引き出し

秋の拡大が終わわり、ほっとしたことかと思えます。目標160人に対し、2019年10月31日の時点で144人の到達です。11月1日が最終日で、1日でどれだけ伸びるか気になるところ。最終到達は、「群会議の話題11月号」でご確認ください。10月6日には、中間決起の

BBQを開催。雨のち曇りの天気でしたが、多くの人が来てくれました。家族で来てくれ人も多く、恒例の抽選会では、子どもたちが大盛り上がりでした。

今回初導入のKポイントは、なかなか好評のようです。目に見える分、所属分会のポイントに気にして、訪問を積極的に行っていました。月間中に加入者を集める秘訣は、事前の種まきです。終わったところではほとん息ついたところですが、次に向けての準備をお願いします。

### 分会の仲間と交流

#### 分会でBBQ交流会

#### 本田立石分会

拡大終盤の10月20日(日)、本田立石分会は中間決起のBBQを行いました。場所は、葛飾支部会館です。分会の役員が中心となってお肉や野菜を焼いて、来てくれた人へふるまいました。会場内には、椅子やテーブル、テントを設置。子供を連れて来てくれる、家族連れの組合員の方も多く見られました。



座って楽しめます



みんなで乾杯

#### 中央分会

10月27日(日)支部会館駐車場を使い、中央分会が後継者交流会のBBQを開催しました。参加者は24人ですが、10月の加入者や加入検討中の未加入者が参加。来た人から始めてもらいました。全員揃ったら「乾杯!」。「若い人も参加してくれて嬉しい!」や「これは続けて欲しい!」など分会からの声が聞けました。

### はがき要請も大詰め

#### 財務省宛は11月20日まで

6月から取り組んできた国保要請はがき。いよいよ11月で終了となります。国保組合は、国からの補助を受けて運営しています。はがき要請は補助金獲得のための大事な取り組みです。最後の財務省宛てのはがきの記入へご協力をお願いします。記入は、1人1シート4枚です。



#### 分会で独自開催奥戸の住宅デー



テントで休憩も

秋晴れの10月27日、奥戸天祖神社で恒例の住宅デーを開催。30人程が早朝から準備を行い、各コーナーを担当しました。来場者は40人程でしたが、七五三のお参りに来て寄ってくれる方もいました。会場では11月の住宅まつりに向けた模擬店の試作や、工作コーナーで人気の鉄砲作りを行うなど、準備に余念がありません。

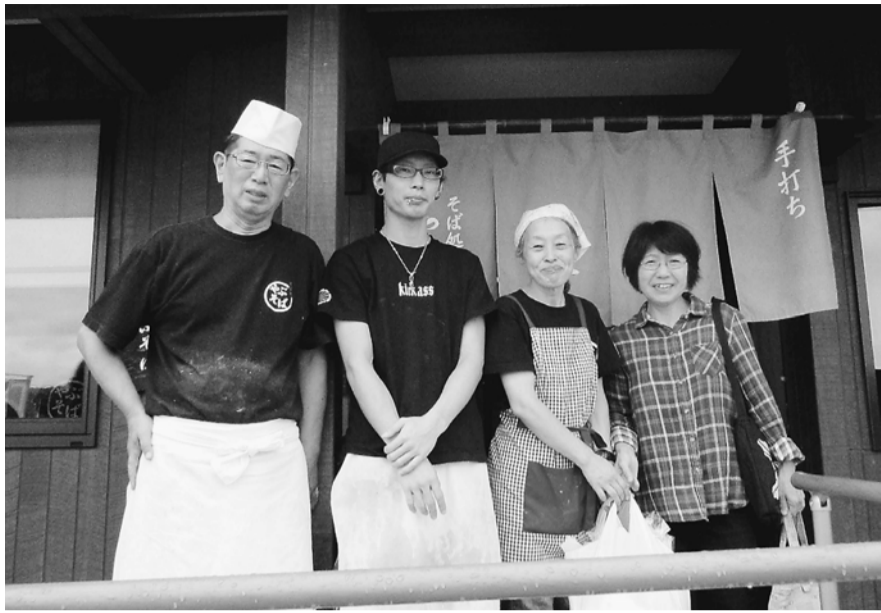
来場していた未加入の仲間にも分会として声をかけるなど秋の拡大月間も意識した取り組みとなりました。用意したものが余るくらい、みんな満腹になってもらいました。

### 寅さん

毎年のように、日本各地で自然災害が起きている。10月は台風が関東を直撃し、大きな被害をもたらした。堤防の決壊は、71河川139か所に及ぶ。都内でも浸水被害に遭い、葛飾区は「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し、85か所に避難所を開設した。幸いにも、河川の氾濫や浸水被害などの大きな被害にはならず、翌日午前9時には解除された。避難所へ避難したという人を聞いた。確かに、女性だけや一人で家にいるなら、避難所へ行った方が安心だ。避難した人からは、「固い床の上で寝たから、体が痛い。敷くものが必要だ」という感想が。備える人は、その対策も万全だったようだ。大きな被害はなかったが、個別に見れば、屋根瓦が落ちたり、雨漏りしたり、アンテナが壊れたりしている。区役所の紹介で始まる住宅修繕の相談が、台風の直後から続いている。支部に寄せられる相談の数は多く、対応が追いついていない。すでに19号が来て、雨も続いた。被災地では、思うように復旧作業が進んでいないという。葛飾支部の中でも、災害時の備蓄を進めている。日ごろの備えや心構えがないと、いざという時に対応は難しい。慌てて買い行き、店には何もなかったという人もいただろう。それに、建物の定期的なメンテナンスも大事だ。災害が落ち着いたら、備えを考えてはどうだろうか。

# 避難指示解除の檜葉町

## 山内さんを訪ねて



山内さんご夫妻と息子さん、折笠女性の会会長と

10月6日(日)、女性の会の役員を中心に、福島県の檜葉町へ行ってきました。目的は、山内さんご夫妻を尋ねることです。当日は、18人が参加しました。

山内さんは、福島県檜葉町の出身で、東日本大震災の際、居住地が避難区域となり、葛飾区へと避難してまいりました。以前、女性の会で震災前後や檜葉町への思いなど、お話を伺ったことがありました。

被災し、原発事故により強制避難。ほとんど何も持たずに自宅をあとにしたこと。帰宅を願ってもできないこと。避難が解除された後、檜葉町に戻れるのか。

体験と思いをたくさん話してくれました。その後は、新聞へのコラムを1年間寄稿してくださっていました。

ようやく檜葉町の避難が解除され、山内さんは檜葉町へ戻りました。お店を再建し、そば屋を開店したとの一報をもらい、女性の会で応援を兼ねて、お伺いしたのです。

多くの会員さんを募って行ければよかったです。山内さんのお店はご夫婦が中心となって営んでいるため、大人数は入れません。そのため、参加者を絞っての訪問となりました。それでも、お店の半分以上を女性の会の会員で埋め尽くし、残りの半分は地元の常連さんが訪れ、ほぼ満席の状態でした。

檜葉町へ帰ったとして、生計を成り立たせていけるのか。そんな不安も聞いていたので、繁盛している店内を見てほっとしました。お店を切り盛りするので慌たたくなく、ゆっくりとお話を聞くことはできませんでしたが、お店が繁盛していて、元気な山内さんご夫妻を見られて本当に良かったです。



阿久津委員長と小泉分会長の協力でプランターを贈呈

### 九州の郷土料理を作る

10月20日(日)、女性の会で毎年恒例となっている、ヘルシークッキングが行われました。会場は、ウイメンズパルです。他、区内3会場でも行われます。

今年のテーマは、九州の郷土料理です。太平燕、チキン南蛮、まだかづけ、やせうまの4品を作りました。

初めに説明をしっかりと聞いて、調理開始。待ち時間がある



先生にコツを教わる

### 原発はいらない 訴え続ける住職



早川住職

が戻りました。しかし、その多くは、檜葉町へ戻ってきた人ではありません。復興のために檜葉町に住む人です。戻ったのは2割程度。若い人は避難生活の間に新たな生活を築いて、ほとんど戻りません。

宝鏡寺(檜葉町)の早川住職は、福島の原発事故以前から原発の危険性を訴えていました。事故後も原発中止を訴え続けています。現在の檜葉町の人口は3千6百人ほど。震災前、人口は8千人でした。半分弱

住職は「高齢者はかりが戻れば、いずれ檜葉町から人がいなくなる。国はそれを狙っているんじゃないだろうか。そんなことを語ってくれました。

### 講習を受けよう 足場特別教育



支部3階にて

10月14日(月・祝)に、葛飾支部会館を会場に、足場特別教育の講習を開催しました。

参加は、16人。他支部の組合員も参加していました。建設キャリアアップシステム(CCUS)の登録も増えており、資格取得や講習受講が必要になりつつあります。ぜひ、東京土建開催の講習を活用してください。

### 建長会のバスレク

## うまい酒と温泉と

10月4日(金)、建長会恒例のバスレクがありました。行先は、茨城県の袋田方面。

まずは、酒蔵を見学。いろいろ試飲をして、お気に入りを買いました。道の駅でさらにおいしい物を楽しみ、昼食と温泉へ。

帰りのバスの車内では、ピニング大会を開催。盛り上がりました。温泉がよかったです。感想もあり、楽しいバスレクとなりました。

建長会の加入資格は、65歳以上の組合員であること。対象はぜひご加入を。



試飲を楽しみました

### 労働者と労働時間 労働安全衛生大会



10月25日(金)、支部会館3階にて、労働安全衛生大会が行われました。講師は、社会保険労務士の竹島敏行さんです。産対関係者を中心に呼びかけました。賃金対策部会を終えた部員も途中から参加

しました。

毎年行われており、労働事故に関する話を多く行ってきました。今年は、法改正も行われた働き方の話を中心でした。現場に直行するのか、一度会社に向かうのかによって、労働時間の計算が変わることや日給での有給の考え方など、建設業の実態に照らし合わせてくれるおかげで、聞いていた人もわかりやすかったです。

皆さん集中していました

主に、事業主として従業員を雇用する側の話になりましたが、参加した中には事業主の方もいて、36協定の協定書の書き方の質問が出ていました。労働者を雇用するにあたり、知っておくことがたくさんある講演でした。